

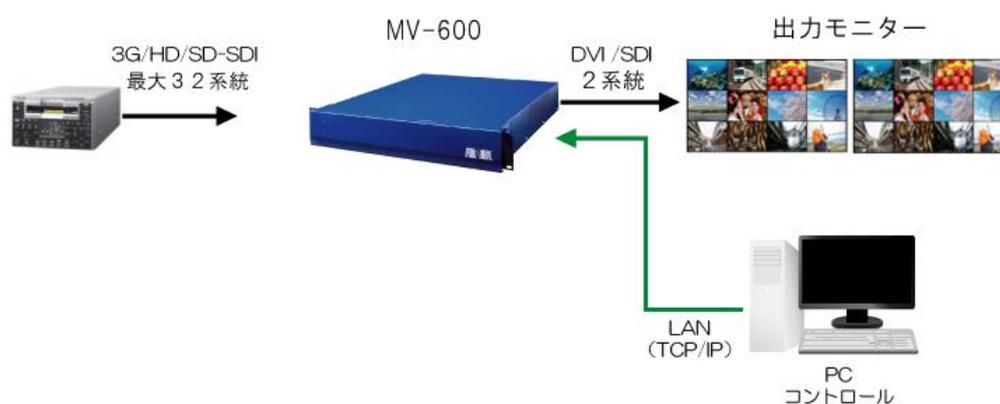
# アルビクス・マルチビューワ (MV-600) V1.6

## 概要/特長

1. アルビクス・マルチビューワは、SDI信号を入力し、大画面・高解像度液晶ディスプレイなどに分割表示することができます。
2. 最大32ch入力可能で、レイアウトが全く異なる分割画面を2系統出力します。  
 【例1】16分割画面を2系統出力することができます。  
 【例2】8分割画面と24分割画面の2系統出力することができます。  
 【例3】32分割画面を1系統に出力することができます。  
 また、2台カスケード接続することにより、最大64ch入力 2系統出力が可能です。
3. 入力は、SD/HD/3G-SDI（自動判別）で、混在可能です。  
 ※3G-SDIは LevelA/1080p/4:2:2 対応。
4. エンベデッドオーディオに対応し、最大8chのオーディオレベルバーを合成することができ、目視による音声の確認が出来ます。
5. LTC入力が可能でアナログ時計/デジタル時計表示を同時に表示可能です。
6. レイアウトパターンは出力毎に8個持つ事が可能です。
7. チャンネル名称は、シフトJISコード（第一水準）の文字が表示可能です。
8. 分割表示の他にコメントウィンドウ表示があり、コメントウィンドウで文字やタリールなどを自由に表示することが可能です。
9. 外部制御はLANインターフェイスを装備し、アルビクスエラー装置と連動してタリールの様に表示する事が出来ます。設定はTCP/IPで行います。  
 機器状態（ファン、電源異常）はSNMPトラップ通知します。
10. 電源はリダンダントでフロントメンテナンス可能です。

## 仕様

### <機器構成イメージ>

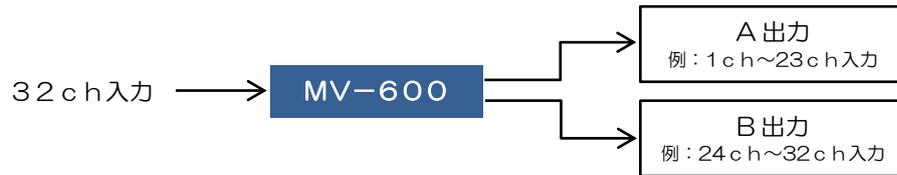


仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

＜構成例 1＞

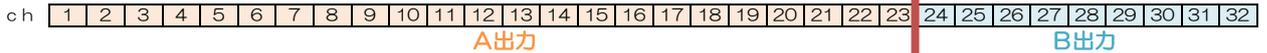
32ch入力 2系統出力が可能です。

※構成などの詳細についてはお問い合わせ下さい。

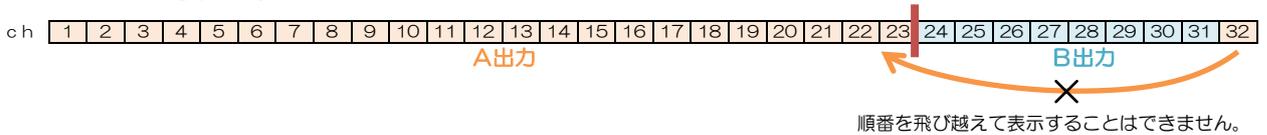


※但し、入力ch順での割り付けとなります。

入力ch順なら、どこで切り分けてもOK ⇒



※A出力に【1~23chと32ch】、B出力に【24ch~31ch】を割り付けるなど、順番を飛び越えたレイアウトはできません。



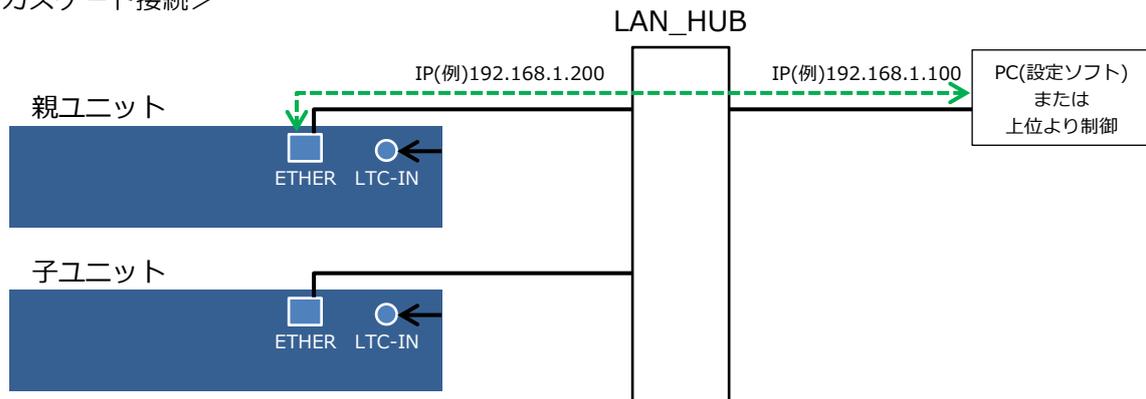
＜構成例 2＞

2台カスケード接続することにより、最大64ch入力 2系統出力が可能です。



カスケード機能は、A出力に33以上表示する必要があれば使用する。A出力にのみ加算可能。

＜カスケード接続＞



※カスケード接続の場合、PC（設定ソフト）または上位より制御しますが、制御対象は親ユニット（例：192.168.1.200）のみとなります。（LAN接続は2台とも必要です。）  
子ユニットの制御は親ユニットが行います。 親）10.3.1.100（仮想） 子）10.3.1.101

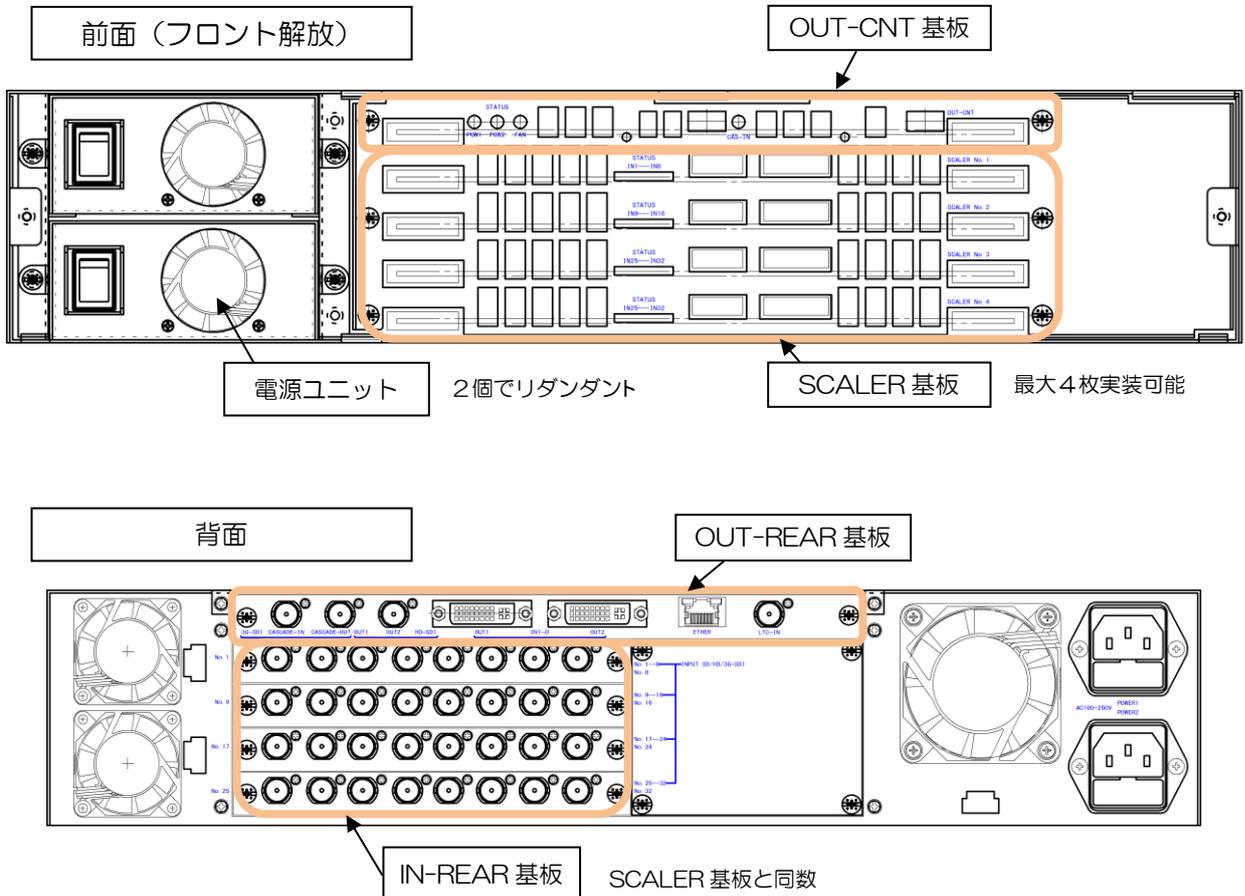
※PC、HUBはお客様用意となります。

※時計表示の為にLTCはどちらのユニットにも必要です。

<ユニット>

◆IN-REAR 基板、SCALER 基板、OUT-CNT 基板、OUT-REAR で構成し、  
最大実装時、32chの入力をレイアウトが異なる分割画面で2系統出力します。

◆外観図



<IN-REAR 基板：MV-600-IN-REAR>

- ◆1ユニットに最大4枚（32ch分）実装可能です。（SCALER基板と同数）
- ◆SDI受信回路を8個搭載します。
- ◆入力信号コネクタ : BNC×8個
- ◆入力信号 : SD/HD/3G-SDI 59.94Hz  
※3G-SDIは LevelA/1080p/4:2:2 対応。
- ◆入力音声信号 : エンベデッドオーディオ 8ch対応

<SCALER基板：MV-600-SCALER-8>

- ◆1ユニットに最大4枚実装可能で、最大32chの子画面を出力可能です。
- ◆入力8系統のリサイズ・合成処理を行います。
- ◆その他機能
  - ・SDI受信：SD/HD/3G-SDIを受信します。（自動判別、混在可能）  
※3G-SDIは LevelA/1080p/4:2:2 対応。
  - ・オーディオオーバー表示：エンベデッドオーディオを分離しオーディオオーバーとして合成します。
  - ・IP変換：動き適応型IP変換を搭載しなめらかな動画を実現します。
  - ・リサイズ：任意位置、サイズに変換します。

<OUT-CNT 基板：MV-600-OUT-CNT>

- ◆1ユニットに1枚の実装が必要で、2出力を行います。
- ◆チャンネル名称やコメント表示を合成し2出力します。制御部も含まれます。

<OUT-REAR 基板：MV-600-OUT-REAR>

- ◆1ユニットに1枚の実装が必要で、2出力を行います。
- ◆DVI出力、SDI出力を各2個、カスケードSDI入力(1個)、外部制御(1個)のコネクタが有ります。
- ◆DVI出力コネクタ : DVI×2個 (DVIデジタル)  
DVI出力信号 : 出力タイミング 1920×1080-59.94P  
※ケーブル長の制限が有ります。  
※DVI-HDMI変換ケーブルを使用することでHDMIモニターに出力可能です。
- ◆SDI出力コネクタ : BNC×2個 1個はカスケード出力(3G-SDI)共用。  
SDI出力信号 : HD-SDI 59.94Hz
- ◆カスケードSDI入力コネクタ : BNC×1個  
SDI入力信号 : 3G-SDI 59.94Hz
- ◆LTC入力コネクタ : BNC×1個  
LTC入力信号 : LTC (SMPTE 12M)  
: アナログ時計とデジタル時計を合成します。
- ◆外部制御コネクタ : RJ-45×1個  
制御方式 : TCP/IP

<筐体：MV-600-TN>

- ◆外形 : 2Uラックマウントサイズ  
W430×H88×D480mm
- ◆電源ユニット : 2個実装可能です。  
(MV-600-PU) 2個でリダンダント、フロントメンテナンス可能です。
- ◆重量 : 約xxkg
- ◆消費電力/皮相電力 : 約300W/約300VA

仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。